

Venture Scout

今年度ベンチャー隊は西湖白樺荘の敷地内、ボーイ隊のサイトのほど近くで野営を行いました。期間はボーイ隊と同じく、6泊7日。今回の野営の目的は、野営・野営管理・炊事の技能章を取得すること。高1スカウト達の手によって春ごろから計画が進められ、いよいよ実施となりました。

初日・2日目は主に設営。自分たちの生活空間を作り上げるのは勿論のこと、今回は章の課題として設定されている工作物も作らなければなりません。

3日目にはる過装置・野草収集などの炊事賞課題をクリアし、4日目にはサイトを出てPICA富士西湖で1泊。PICAは白樺荘から車で5分ほどのところにあるキャンプ場で、西湖に面した景色と整った設備を有しています。ここではスカウト達全員でカヌーを体験。全員が初のカヌー体験だったこともあり、最初はおっかなびっくりといった風情でしたが、慣れてきてからは皆自由にカヌーを走らせていました。スカウト1名とリーダー1名が西湖に転落するというハプニングも見られましたが、今ではいい思い出です。

5日目、PICAでの2日目は午前中に徹営をすませ、午後は釣りぼりで釣りを行いました。管理された場所ということもあってか、面白いように釣ることができ、釣った魚は夕飯の際に直火で焼いて美味しくいただくことが出来ました。サイトに戻り、夕飯を食べてからはビーバー・カブと一緒に花火を楽しみました。

6日目は朝のうちに徹営をすませ、午後からは団ボリーの合同プログラムを行いました。夜のキャンプファイアで大いに盛りあがった後は、引き続き徹営作

業。次の日の朝はやく地区キャンポリーへとでかけるため、6日目のうちに全ての片付けを終わらせていなければいけません。そんなこんなで7日目を迎え、ベンチャー隊は団でのキャンプを終えながらそのまま地区キャンポリーへと出かけていきました。

今回のキャンプでは、炊事章のキャンプということもあり、食事のメニューが非常に凝ったものでした。例を挙げるとボスニア・ヘルツェゴビナ料理「チェバプチチ」、パプワニューギニア料理「ムームー」、レバノン料理「タブーレ」等、聞いただけではどのような料理が想像も付かないようなラインナップ。時には材料が足りなかったりというハプニングもありつつ、結果的にどの料理も美味しくいただくことが出来ました。ちなみに自分がかもっとも気に入ったのはブルキナファソ料理「リーグラ」でした。ブルキナファソがどこにあるのかなどは全く分かりませんが、この料理は非常に美味しかった。詳細が知りたい方はベンチャー隊関根くんまで。

計画段階から高1スカウトがほぼ全てを自分たちの手で作り上げたこのキャンプ。班長のときに班キャンプの計画を立てた経験があるとはいえ、隊で行う6泊のキャンプ全てを計画、実行したのははじめての経験です。計画→実施→報告というサイクルを全て自分たちの手で消化するということは、これからの活動の土台となる経験といえます。今回発見した課題を次回の活動に活かして行って欲しいと思います。

(佐藤VS副長)



ベンチャースカウトの感想

関根くん

今年の野営の特徴は、例年に比べて人数が少なかったことだ。去年は班長として班全体で協力することが重要だったが、今年は個人のスキルがものを言ったと感じる。というのも今年のキャンプは非常に凝ったプログラムで、少人数にもかかわらず作った工作物や食事は例年よりも充実していた。お互いをよく知るメンバーの中で、技能を発展させられたことは、これからもっと高度な活動をするうえで非常にいい経験になったと思う。

だが、今年はベンチャーだけのキャンプではなかった。最終日に全員で集まって、一つの営火を作り上げたことも大きな思い出だ。

スカウト活動には、仲間との協力と個人のスキルのどちらも大切だと、改めて感じた7日間だった。



↑ 11日、みんなのお昼ごはんカレーを作成中のベンチャー

平野くん

今年の団ポリーは自ら計画・実行した野営の中で最も長く、これまでの夏季野営と比べて参加人数が最も少ない野営でしたので、楽しさの反面不安でした。

ですが、最後には笑顔で野営地を出ることができたので、満足しています。

大営火は、沢山の後輩スカウトと歌い、踊り、笑い合うことができたのでとても良い時間でした。

ありがとうございました。

Rover Scout

【今回の団ポリーはローバー隊が中心になって企画・運営がおこなわれました】

RS 隊から全体プログラムについてご報告致します。

全体ゲーム

予定が狂ってしまった部分もありましたが、スカウトはゲーム自体を楽しんでやってくれていたように感じます。2 ゲームしか出来なかったためか、「もう終わりなの？」という声が多く聞かれました。

バーベキュー

開始直前の雨により急遽体育館での活動となりました。食べきれないくらいある食材をスカウトたちは話しながら食べていました。

キャンプファイヤ

雨のため体育館でロウソクの火を囲むキャンプファイヤとなりましたが、いつものキャンプファイヤ以上にスカウトは楽しんでいたと思います。またみんなで楽しく体を動かせたのは良かったと思います。

最後になりましたが、今回の団ポリーに際して事前準備からお手伝い頂きました方、当日急にお手伝い頂きました方、影ながら支えて頂きました方々に御礼申し上げます。特に前日夜遅くまで準備を手伝って下さったリーダーの皆様、誠にありがとうございました。（小林RS隊員）

歴代団ポリーワッペン



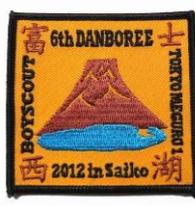
1991 北海道夕張
2003 長野高森町



1995 福島尾瀬
2007 福島会津



1999 群馬奥草津
2012 山梨西湖



団委員も頑張りました！

スカウトたちのハイキングと同じコースを歩きました。

三湖台頂上に立つ
田邊副団委員長と
吉田父母会長。

撮影は井澤広報担当



団ポリーは4年に一度の団全体行事として1991年から始まり、今回で第6回目。

今回は世界ジャンポリーとの重なりを調整するため5年開きました。

団全体の大きな行事が20年を超える歴史をもち、続いていることは大変貴重だと思います。

次回の団ポリーも素晴らしいものになること期待したいと思います。(次のオリンピックの年ですよ！)